

科目名	スポーツトレーナー実践Ⅲ					
分野	その他の分野	担当教員	深谷 高治			
開講時期	1学年(集中講義)	単位数	講義	実技	演習	実習
時間数	30				2	
科目の概要	トレーナーとして活動する際に必要な傷害の評価とアスレチックリハビリテーションの技能をモデルケースへの対応実習をテーピング実技、身体評価、レントゲン評価を行いながら身につける。実技ができるだけでなく、自ら考え、アスレチックリハビリテーションに必要な評価や処方ができるようになることを目指す。					
学習の到達目標	スポーツ傷害の評価や治療的処置を一人でできる。 スポーツ傷害に対するアスレチックリハビリテーションやトレーニングのプログラミングができる。					
成績評価の方法と基準	出席率、実技試験結果、提出物、授業態度を考慮し総合的に評価する。					
使用テキスト	日本体育協会公認アスレチックトレーナー専門科目テキスト					
参考文献	なし					
実務経験を有する者	○					
講義計画	講義内容					
1	足関節捻挫の病態理解、リハビリ、テーピング方法 No1					
2	足関節捻挫の病態理解、リハビリ、テーピング方法 No2					
3	足関節捻挫の病態理解、リハビリ、テーピング方法 No3					
4	肉離れの病態理解、リハビリ、テーピング方法					
5	膝関節捻挫の病態理解、リハビリ、テーピング方法 No1					
6	膝関節捻挫の病態理解、リハビリ、テーピング方法 No2					
7	膝関節捻挫の病態理解、リハビリ、テーピング方法 No3					
8	指関節捻挫の病態理解、リハビリ、テーピング方法					
9	扁平足、外反母趾の病態理解、リハビリ、テーピング方法					
10	姿勢評価と不良姿勢に対する改善法					
11	レントゲン、外見写真を用いた身体アライメント評価 No1					
12	レントゲン、外見写真を用いた身体アライメント評価 No2					
13	レントゲン、外見写真を用いた身体アライメント評価 No3					
14	トレーニング施設実習(トレーニング理論)					
15	トレーニング施設実習(ビック3トレーニング、アジリティ、プライオメトリックトレーニングの実践)					

(2023年度)